



政府統計

統計法に基づく国の
統計調査です。調査票
情報の秘密の保護に
万全を期します。

バルク貨物流動調査 記入要領

1. 記入にあたっての留意事項

(1) 調査対象貨物

「バルク貨物流動調査」の対象は、調査対象期間中（令和6年11月1日（金）～11月30日（土））に国内の港湾に寄港した内航船舶、外航船舶で輸送されるバルク貨物（「コンテナ船」及び「フェリー」、「RORO船」等を除く船舶により輸送される貨物です。バラ積みのドライバルク、原油等のリキッドバルク、完成自動車等が対象となります。）及び、その輸送船舶が対象です。船種としては、在来船、タンカー、PCC船の他、各種専用船を対象とします。

1) **船積貨物**—内陸（仕出地）から輸送され、港湾において船積みされ、船によって運ばれる貨物。

なお、外航貨物の場合、内陸から一旦国内の別の港に輸送され、その後船舶によって海外への船積港まで輸送される場合も対象とします。

2) **船卸貨物**—船によって運ばれ、港湾において船卸しされ、内陸（仕向地）へ輸送される貨物。

なお、外航貨物の場合、海外からの船卸港から一旦国内の別の港に船舶によって輸送され、その後内陸に輸送される場合も対象とします。

* 国内港湾の入出港が調査対象期間内である場合は、内陸（仕出地）からの輸送又は内陸（仕向地）への輸送が調査対象期間外であっても、調査対象となります。

* 同一港湾内を輸送する貨物、洋上で輸送される貨物（給油、給水等）は調査対象外です。

例) 東京港から横浜港への輸送 → 調査対象

横浜港内（例えば、大黒ふ頭から本牧ふ頭へ）の輸送 → 調査対象外

神戸港から大阪港への輸送 → 調査対象

神戸港内（例えば、兵庫ふ頭から新港東ふ頭へ）の輸送 → 調査対象外

* 港湾から港湾に輸送される貨物が対象であり、港湾内から河川、または、漁港へ、あるいは、その逆は調査対象外です。

* 艇、バージ等により輸送される貨物は調査対象外です。

(2) 調査対象となる貨物流動

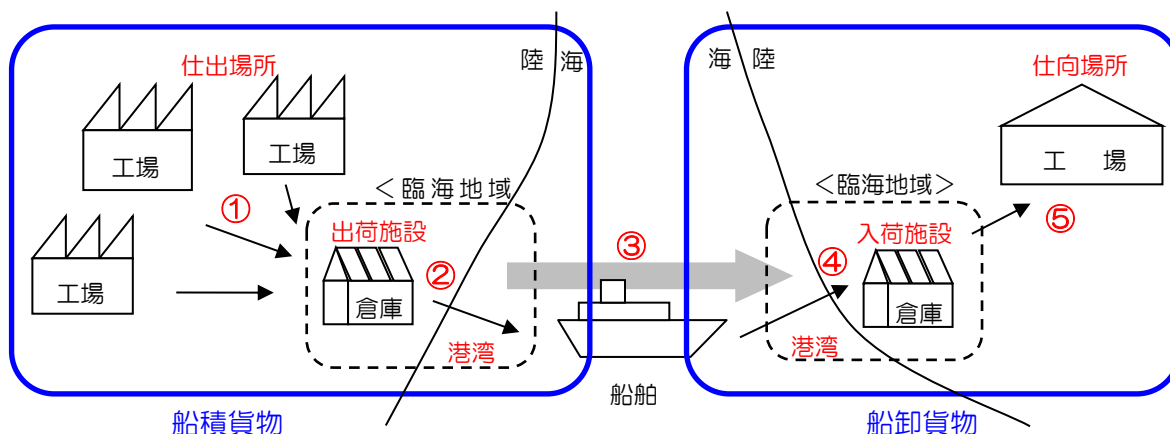
調査対象となる貨物流動は、下図の通り大きく分けて5つあります。

- | | | |
|--------------------------|---|---------|
| ①内陸（仕出地）から臨海地域の出荷施設までの輸送 | } | 1) 船積貨物 |
| ②出荷施設から船舶までの輸送 | | |
| ③船舶輸送 | | |
| ④入荷施設から船舶までの輸送 | } | 2) 船卸貨物 |
| ⑤臨海地域の入荷施設から内陸（仕向地）までの輸送 | | |

同一船舶の航海については、調査票1枚に記入してください。

また、一航海内で、1) 船積貨物と2) 船卸貨物のそれぞれ総貨物量が等しくなるように記入して下さい。

外航貨物の場合、外国国内の内陸の流動情報（船から入荷施設まで（出荷施設から船まで）の荷役機械、入荷施設（出荷施設）の種類、入荷施設から仕向地まで（仕出地から出荷施設まで）の輸送機関、仕出地（仕向地）、仕出場所（仕向場所）の種類は、記入する必要はありません。



* 船卸貨物の内陸の流動状況については、原材料系の貨物や燃料系の貨物について貨物が加工され異なる品目になった時点、あるいは貨物がサイロや野積場等で他の貨物と混合し追跡できなくなった時点より後は、記入の必要はありません。

* 船積貨物の内陸の流動状況については、貨物が船積みされる姿に加工、生産された時点より前については、記入の必要はありません。

* 仕出場所は、貨物が船積みされる状態になった場所、あるいは貨物が製造等された場所（背産地）を記入して下さい。仕向場所は、貨物が最終的に消費される場所、あるいは加工、混合等された場所（消費地）を記入して下さい。

(3) その他

①貨物の数量について

貨物のトン数は、原則として「フレート・トン」によることとし、容積は 1.133 立方メートル (40 立方フィート)、重量は 1,000 キログラムを 1 トンとし、容積と重量のうちいずれか大きい数値とします。ただし、完成自動車については、台数(台)で記入して下さい。

なお、少数点以下第 1 位を四捨五入して 1 トンに満たない貨物は 1 トンとして下さい。また、キログラム単位で記入することがないように注意して下さい。

(例 1) 1. 5 トン → 2 トン とする。

1. 4 トン → 1 トン とする。

(例 2) 1. 0 トン未満 → 1 トン とする。

②内陸の流動状況の情報について

調査票のうち、貨物の内陸流動に関する情報 (船から入荷施設まで (出荷施設から船まで)) の荷役機械、入荷施設 (出荷施設) の種類、入荷施設から仕向地まで (仕出地から出荷施設まで) の輸送機関、仕出地 (仕向地)、仕出場所 (仕向場所) の種類については可能な範囲でご記入下さい。

不明な場合は、調査主体から内陸流動を把握している事業者等に対し二次調査を実施しますので、「内陸流動を把握する二次調査先」に内陸流動を把握している事業者等の情報 (会社名、支店・部署等の名称、担当者氏名、連絡先 (電話番号))、メールアドレスをご記入下さい。なお、二次調査先に記入する事業者等に対し、二次調査先に記入することを予め連絡しておくなど、二次調査が円滑に実施されるようご協力をお願い致します。

入出港する港湾が海外の場合、調査の対象としないため記入は不要です。

2. 調査票の記入要領（内航）

I 共通部分（申告者情報、船舶基本情報）の記入要領



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

バルク貨物流動調査 内航調査票

データ確認

データ保存

① 会社名、部署名	② 法人番号	③ 所在地	④ 電話番号	⑤ 担当者名
-----------	--------	-------	--------	--------

項目 入力 事項	船舶情報				香港の状況				貨物の内容		船積港の背後地の状況				
	船名 ⑥ 直接入力	コールサイン ⑦ 直接入力	船種 ⑧ リスト選択	載貨重量 トン数 (DWT) ⑨ 直接入力	船積港(移出)		船卸港(移入)		貨物の品目		貨物量 トン数 (ブレイトトン) 直接入力	出入荷施設・荷役の状況		港湾と背後地間の輸送機関の状況	
					港湾名 リスト選択	出港月日 月 日 直接入力	港湾名 リスト選択	入港月日 月 日 直接入力	品目 コード リスト選択	品目名 リスト選択		出荷施設から船 までの 荷役機械 リスト選択	出荷施設 の種類 リスト選択	出荷施設へ の輸送有無 リスト選択	左記回答が 1.の場合 仕出港 リスト選択
行番号															
1															
2															
3															
4															
5															

【申告者情報】

①会社名、部署名

貴社名及び部署名をご記入下さい。

②法人番号

貴社の法人番号をご記入下さい。

③所在地

貴社のご住所をご記入下さい。

④電話番号

後日、ご担当者にお問い合わせを差し上げる場合に連絡可能な電話番号をご記入ください。

⑤担当者

ご記入いただいた方のご所属、ご氏名をご記入下さい。記入内容について後日お問い合わせを差し上げる場合がございますので、ご回答頂ける方をご担当者として下さい。

【船舶基本情報】

⑥船名

船名をご記入下さい。

⑦コールサイン

当該船舶固有のコールサインをご記入下さい。

⑧船種

当該船舶の種類をリストより選択して下さい。コールサインの記入がある場合、回答不要です。

⑨総トン数

当該船舶の総トン数をご記入下さい。コールサインの記入がある場合、回答不要です。

II 貨物流動の記入要領



政府統計

統計法に基づく国の統計調査
です。調査票情報の秘密の保
護に万全を期します。

バルク貨物流動調査 内航調査票

データ確認

データ保存

会社名、部署名	法人番号	所在地	電話番号	担当者名

項目・ 入力 事項 行番号	船舶情報				寄港の状況				貨物の内容			船積港の背後地の状況				
	船名	コールサイン	船種	載貨重量 トン数 (DWT)	船積港(移出) ^②		船卸港(移入) ^④		貨物の品目		貨物量 トン数 (フレートトン)	出入荷施設・荷役の状況		港湾と背後地間の輸送機関の状況		
					① 港湾名	出港月日	③ 港湾名	入港月日	品目 コード	品目名		出荷施設から船 までの 荷役機械	出荷施設 の種類	出荷施設へ の輸送有無	左記図表が 1.の場合 仕出港	仕出地から 出荷施設まで の輸送機関
直接入力	直接入力	リスト選択	直接入力	リスト選択	直接入力	リスト選択	直接入力	リスト選択	直接入力	リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	
1																
2																
3																
4																
5																

【輸送貨物基本情報】

※調査票は、調査期間に船舶から積卸した貨物に関する情報を日付順にご記入ください。船積港（船卸港）、貨物の品目、仕出地（仕向地）別に1行ずつ記入して下さい（同一船舶に複数品目が積載される場合には品目ごとに行を分けて記入して下さい）。

①船積港（移出）の港湾名

港湾名は、別添の『港湾コード表』を参照の上、エクセルシートのセルをクリックすると、港湾名が表示されますので選択して下さい。実際に作業した日付順にご記入ください。（例えば、2港積み、1港卸しの場合、1行目に最初に船積みした港湾名、2行目に次に船積みした港湾名を選択して下さい。→ p.12 の記入例1 参照）

②出港月日

出港月日を記入して下さい。

③船卸港（移入）の港湾名

港湾名は、別添の『港湾コード表』を参照の上、エクセルシートのセルをクリックすると、港湾名が表示されますので選択して下さい。実際に作業した日付順にご記入ください。（例えば、2港積み、1港卸しの場合、1行目、2行目に船卸しした港湾名を選択して下さい。→ p.12 の記入例1 参照）

④入港月日

入港月日を記入して下さい。



政府統計

統計法に基づく国の統計調査
です。調査票情報の秘密の保
護に万全を期します。

バルク貨物流動調査 内航調査票

データ確認

データ保存

会社名、部署名	法人番号	所在地	電話番号	担当者名

項目 入力 事項 行番号	船舶情報				香港の状況				貨物の内容		船積港の背後地の状況					
	船名 直接入力	コールサイン 直接入力	船種 リスト選択	載貨重量 トン数 (DWT) 直接入力	船積港(移出)		船卸港(移入)		貨物の品目		貨物量 トン数 (フレートトン) 直接入力	出入荷施設・荷役の状況		港湾と背後地間の輸送機関の状況		
					港湾名 リスト選択	出港月日	港湾名 リスト選択	入港月日	品目 コード リスト選択	品目名 リスト選択		出荷施設から船 までの 荷役機械 リスト選択	出荷施設 の種類 リスト選択	出荷施設へ の輸送有無 リスト選択	左戻り荷が 1.の機会 仕出港 リスト選択	仕出地から 出荷施設まで の輸送機関 リスト選択
						月		日								
1																
2																
3																
4																
5																

⑤船積（船卸）の貨物の品目コード

別添の『品目コード表』を参照の上、該当するコード（3桁）を記入して下さい。
エクセルシートのセルをクリックすると、品目が表示されますので選択して下さい。

⑥船積（船卸）の貨物の品目名

エクセルシートのセルをクリックすると、品目が表示されますので選択して下さい。

⑦船積（船卸）の貨物量

フレート・トンで記入して下さい。品目の種類が完成自動車の場合、台数で記入して下さい。

⑧出荷施設から船舶までの荷役機械

船積貨物の場合、船積港の出荷施設から船舶までの荷役機械で該当する番号を記入して下さい。
エクセルシートのセルをクリックすると、荷役機械が表示されますので選択して下さい。

1.クレーン、アンローダー	2.ベルトコンベア	3.パイプライン	4.ローディングアーム	5.自走	6.その他
---------------	-----------	----------	-------------	------	-------

船積港の背後地の状況													
出入荷施設・荷役の状況		港湾と背後地間の輸送機関の状況			仕出地の状況			内陸流動を把握する二次調査先					
出荷施設から船までの荷役機械	出荷施設の種類	出荷施設への輸送の有無	左記回答が1.の場合仕出港	仕出地から出荷施設までの輸送機関	仕出地			仕出場所の種類	事業者等会社名	支店・部署等の名称	担当者氏名	電話番号	メールアドレス
					市町村コード	都道府県名	市区町村名						
リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択			リスト選択	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力
	⑨	⑩	⑪	⑫									
					※1 内陸流動								

⑨出荷施設の種類

船積貨物の場合、最終的に船積みする前に貨物を保管していた施設の番号を記入して下さい。

エクセルシートのセルをクリックすると、出荷施設の種類が表示されますので選択して下さい。

1.倉庫	2.貯油槽	3.危険物置場	4.タンク	5.野積場	6.水面貯木場	7.サイロ
8.モータープール	9.その他					

⑩出荷施設への輸送の有無

移出の場合、船舶への船積前に、出荷施設へ他の内航船により他国内港湾から輸送された場合は、「1.有り（船舶による輸送を伴う場合）」を選択してください。

出荷施設への輸送を行うが、上記以外の場合は、「2.有り（船舶による輸送を伴わない場合）」を選択、出荷施設へは輸送しない場合は「3.無し」を選択して下さい。

1.有り（船舶による輸送を伴う場合）	2.有り（船舶による輸送を伴わない場合）	3.無し
--------------------	----------------------	------

※「出荷施設への輸送の有無」が「3.無し」の場合は、以降の項目の回答不要です。

⑪左記回答が1.の場合の仕出港

移出の場合、「1.有り（船舶による輸送を伴う場合）」を選択した場合は、出荷施設まで輸送した他内航船が最初に船積した港湾名をリストより選択して下さい。

⑫仕出地から出荷施設までの輸送機関

船積貨物の場合は、仕出地から出荷施設までの輸送機関を、該当する番号を記入して下さい。

エクセルシートのセルをクリックすると、輸送機関が表示されますので選択して下さい。

1.鉄道	2.トラック、トレーラー、タンクローリー	3.自走	4.その他
------	----------------------	------	-------

船積港の背後地の状況													
出入荷施設・荷役の状況		港湾と背後地間の輸送機関の状況			仕出地の状況			⑮ 内陸流動を把握する二次調査先					
出荷施設から船 までの 荷役機械	出荷施設 の種類	出荷施設へ の輸送有無	左記回数が 1.の場合 仕出港	仕出地から 出荷施設まで の輸送機関	⑬ 仕出地			⑭ 仕出場所 の種類	事業者等 会社名	支店・部署等 の名称	担当者氏名	電話番号	メール アドレス
					市町村コード	都道府県名	市区町村名						
リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択			リスト選択	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力

※1 内陸流動

⑬仕出地

船積貨物の場合、貨物が船積みされる状態になった場所、あるいは貨物が製造等された場所を記入して下さい。

エクセルシートのセルをクリックすると、都道府県、市区町村名が表示されますので選択して下さい。**政令指定都市については行政区（〇〇市〇〇区）まで記入して下さい。**

⑭仕出場所の種類

該当する仕出場所の種類を記入して下さい。

エクセルシートのセルをクリックすると、仕出場所の種類が表示されますので選択して下さい。

- 1.工場 2.倉庫 3.店舗・市場 4.建設作業場 5.サイロ 6.モータープール 7.野積場 8.その他

⑮内陸流動を把握する二次調査先

内陸流動に関して記載が困難な箇所があった場合には、荷主、運送事業者等、その内容が記入可能と考えられる内陸流動を把握する事業者等を「内陸流動を把握する二次調査先」に記入してください。

船卸港の背後地の状況													
出入荷施設・荷役の状況		港湾と背後地間の輸送機関の状況			仕向地の状況			内陸流動を把握する二次調査先					
船から入荷施設までの荷役機械	入荷施設の種類	入荷施設からの輸送の有無	左記回答が1.の場合仕向港	入荷施設から仕向地までの輸送機関	仕向地			仕向場所の種類	事業者等会社名	支店・部署等の名称	担当者氏名	電話番号	メールアドレス
					市町村コード	都道府県名	市区町村名						
リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択			リスト選択	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力
⑩	⑪	⑫	⑬										

※1 内陸流動

⑩船から入荷施設までの荷役機械

船卸貨物の場合、船舶から船卸港の入荷施設までの荷役機械で該当する番号を記入して下さい。
 エクセルシートセルをクリックすると、荷役機械が表示されますので選択して下さい。

1.クレーン、アンローダー 2.ベルトコンベア 3.パイプライン 4.ローディングアーム 5.自走 6.その他

⑪入荷施設の種類

船卸貨物の場合、船卸して最初に貨物を保管した施設の番号を記入して下さい。
 エクセルシートセルをクリックすると、入荷施設の種類が表示されますので選択して下さい。

1.倉庫 2.貯油槽 3.危険物置場 4.タンク 5.野積場 6.水面貯木場 7.サイロ
 8.モータープール 9.その他

⑫入荷施設からの輸送の有無

移入の場合、船舶から船卸後（あるいは、船舶から直接他の内航船に積み替え）、他内航船により他国内港湾に輸送された場合は、「1.有り（船舶による輸送を伴う場合）」を選択してください。
 入荷施設から輸送を行うが上記以外の場合は、「2.有り（船舶による輸送を伴わない場合）」を選択、
 入荷施設からは輸送しない場合は「3.無し」を選択して下さい。

1.有り（船舶による輸送を伴う場合） 2.有り（船舶による輸送を伴わない場合） 3.無し

※「入荷施設からの輸送の有無」が「3.無し」の場合は、以降の項目の回答不要です。

⑬左記回答が1.の場合の仕向港

移入の場合、「1.有り（船舶による輸送を伴う場合）」を選択した場合は、入荷施設から輸送した他の内航船が最後に船卸した港湾名をリストより選択して下さい。

船卸港の背後地の状況													
出入荷施設・荷役の状況		港湾と背後地間の輸送機関の状況			仕向地の状況			⑳ 内陸流動を把握する二次調査先					
船から入荷施設までの荷役機械	入荷施設の種類	入荷施設からの輸送者 無	左記回答が1.の場合仕向港	入荷施設から仕向地までの輸送機関	㉑ 仕向地			仕向場所の種類	事業者等 会社名	支店・部署等の 名称	担当者氏名	電話番号	メール アドレス
					市町村コード	都道府県名	市区町村名						
リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択			リスト選択	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力
				㉒				㉓					
					※1 内陸流動								

㉒ 入荷施設からの仕向地までの輸送機関

船卸貨物の場合は、入荷施設から仕向地までの輸送機関を、該当する番号を記入して下さい。
 エクセルシートのセルをクリックすると、輸送機関が表示されますので選択して下さい。

- 1.鉄道 2.トラック、トレーラー、タンクローリー 3.自走 4.その他

㉑ 仕向地

船卸貨物の場合、貨物が最終的に消費される場所、あるいは加工、混合等された場所を記入して下さい。

エクセルシートのセルをクリックすると、都道府県、市区町村名が表示されますので選択して下さい。
 政令指定都市については行政区（〇〇市〇〇区）まで記入して下さい。

㉓ 仕向場所の種類

該当する仕向場所の種類を記入して下さい。

エクセルシートのセルをクリックすると、仕向場所の種類が表示されますので選択して下さい。

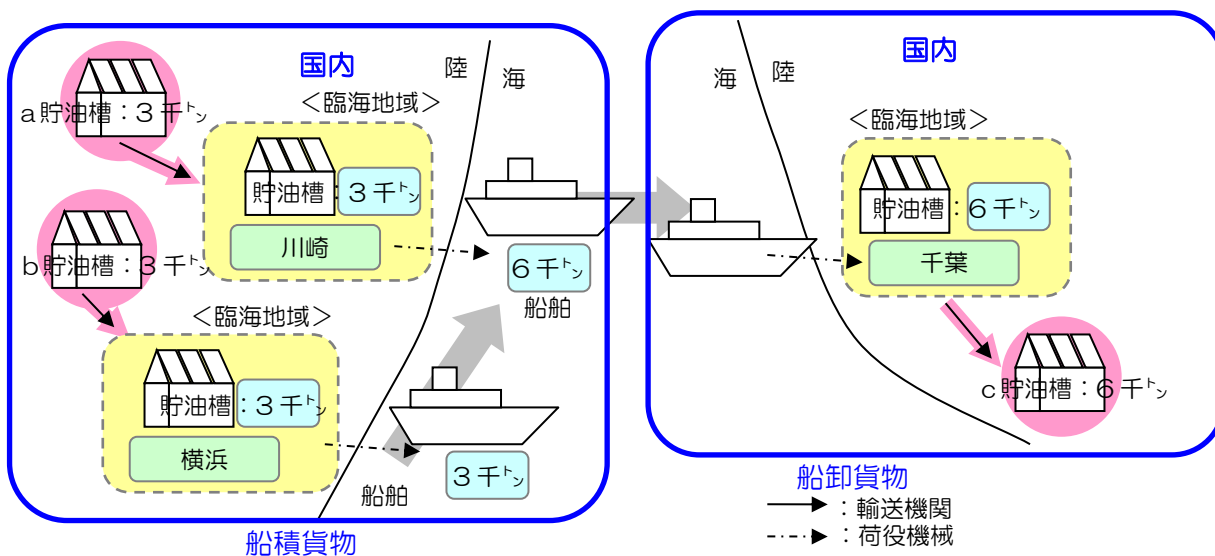
- 1.工場 2.倉庫 3.店舗・市場 4.建設作業場 5.サイロ 6.モータープール 7.野積場 8.その他

㉔ 内陸流動を把握する二次調査先

内陸流動に関して記載が困難な箇所があった場合には、荷主、運送事業者等、その内容が記入可能と考えられる内陸流動を把握する事業者等を「内陸流動を把握する二次調査先」に記入してください。

<記入例1：内航（2港積み、1港卸し、船積貨物内陸流動なし）の例>

○国内港湾（2港）で船積され、国内港湾（1港）で船卸される内航貨物を輸送する船舶の場合



項目・ 入力 事項 行番号	船舶情報				寄港の状況				貨物の内容		
	船名	コールサイン	船種	載貨重量 トン数 (DWT)	船積港(移出)		船卸港(移入)		貨物の品目		貨物量
					港湾名	出港月日	港湾名	入港月日	品目 コード	品目名	トン数 (フレートトン)
	直接入力	直接入力	リスト選択	直接入力	リスト選択	直接入力	リスト選択	直接入力	リスト選択	直接入力	
1	日本〇丸	JA1xxxx	油槽船	7,000	横浜港	11/6	千葉港	11/6	321	その他の石油	3,000
2	日本〇丸	JA1xxxx	油槽船	7000	川崎港	11/6	千葉港	11/6	321	その他の石油	3,000
3											
4											
5											

船積港の背後地の状況													
出入荷施設・荷役の状況		港湾と背後地間の輸送機関の状況			仕出地の状況			内陸流動を把握する二次調査先					
出荷施設から船までの荷役機械	出荷施設の種類	出荷施設への輸送の有無	左記回答が1.の場合仕出港	仕出地から出荷施設までの輸送機関	仕出地		仕出場所の種類	事業者等会社名	支店・部署等の名称	担当者氏名	電話番号	メールアドレス	
リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	市町村コード	都道府県名	市区町村名	リスト選択	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力	
4ローディングアーム	2.貯油槽	2.有り(船舶による輸送を)							●●港運	××支店	▲●	045-xxxx-xxxx	●●@●●co.jp
4ローディングアーム	2.貯油槽	2.有り(船舶による輸送を)							●●倉庫	物流グループ	●■	044-xxxx-xxxx	●■@●■co.jp

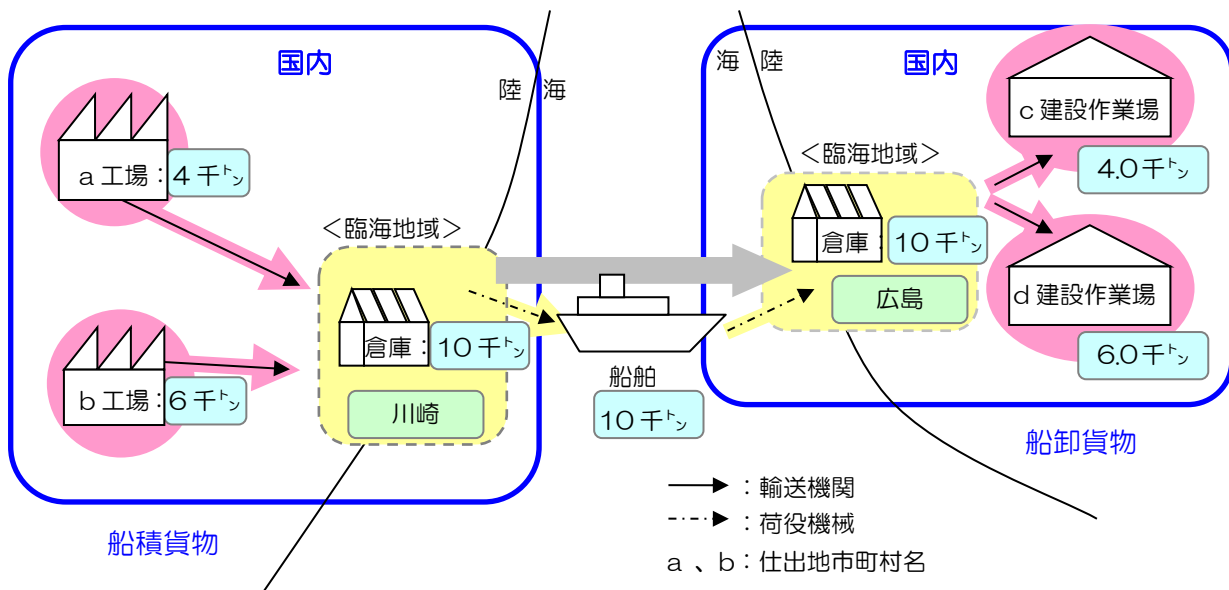
※内陸流動に関して記載が困難な箇所があった場合には、内陸流動を把握する事業者等の情報を右の「内陸流動を把握する二次調査先」に記入

船卸港の背後地の状況													
出入荷施設・荷役の状況		港湾と背後地間の輸送機関の状況			仕向地の状況			内陸流動を把握する二次調査先					
船から入荷施設までの荷役機械	入荷施設の種類	入荷施設からの輸送の有無	左記回答が1.の場合仕向港	入荷施設から仕向地までの輸送機関	仕向地		仕向場所の種類	事業者等会社名	支店・部署等の名称	担当者氏名	電話番号	メールアドレス	
リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	市町村コード	都道府県名	市区町村名	リスト選択	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力	
4ローディングアーム	2.貯油槽	2.有り(船舶による輸送を)							●●港運	××支店	▲●	045-xxxx-xxxx	●●@●●co.jp
4ローディングアーム	2.貯油槽	2.有り(船舶による輸送を)							●●倉庫	物流グループ	●■	044-xxxx-xxxx	●■@●■co.jp

※内陸流動に関して記載が困難な箇所があった場合には、内陸流動を把握する事業者等の情報を右の「内陸流動を把握する二次調査先」に記入

<記入例2：内航（1港積み、1港卸し、船卸貨物二次調査先記入）の例>

○国内港湾（1港）で船積され、国内港湾（1港）で船卸される内航貨物を輸送する船舶の場合



項目・入力事項 行番号	船舶情報				寄港の状況				貨物の内容		
	船名	コールサイン	船種	載貨重量トン数(DWT)	船積港(移出)		船卸港(移入)		貨物の品目		貨物量 トン数(フレートトン)
					港湾名	出港月日	港湾名	入港月日	品目コード	品目名	
	直接入力	直接入力	リスト選択	直接入力	リスト選択	直接入力	リスト選択	直接入力	リスト選択	直接入力	
1	●●丸	JAT1×××	貨物船	15,000	川崎港	11/4	広島港	11/7	222	鋼材	4,000
2	●●丸	JAT1×××	貨物船	15,000	川崎港	11/4	広島港	11/7	222	鋼材	6,000
3											
4											
5											

船積港の背後地の状況													
出入荷施設・荷役の状況		港湾と背後地間の輸送機関の状況			仕出地の状況			内陸流動を把握する二次調査先					
出荷施設から船までの荷役機械	出荷施設の種類	出荷施設への輸送の有無	左記回答が1.の場合仕出港	仕出地から出荷施設までの輸送機関	仕出地			仕出場所の種類	事業者等会社名	支店・部署等の名称	担当者氏名	電話番号	メールアドレス
					市町村コード	都道府県名	市区町村名						
リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択			リスト選択	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力
1.クレーン、アローダー	1.倉庫	2.有り(船舶による輸送を伴)		2.トラック、トレーラー、タンク					●●港運	××支店	▲●	087-×××-××××	●●@●●co.jp
1.クレーン、アローダー	1.倉庫	2.有り(船舶による輸送を伴)		2.トラック、トレーラー、タンク					●●港運	××支店	▲●	087-×××-××××	●●@●●co.jp

※内陸流動に関して記載が困難な箇所があった場合には、内陸流動を把握する事業者等の情報を右の「内陸流動を把握する二次調査先」に記入

船卸港の背後地の状況													
出入荷施設・荷役の状況		港湾と背後地間の輸送機関の状況			仕向地の状況			内陸流動を把握する二次調査先					
船から入荷施設までの荷役機械	入荷施設の種類	入荷施設からの輸送の有無	左記回答が1.の場合仕向港	入荷施設から仕向地までの輸送機関	仕向地			仕向場所の種類	事業者等会社名	支店・部署等の名称	担当者氏名	電話番号	メールアドレス
					市町村コード	都道府県名	市区町村名						
リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択			リスト選択	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力
1.クレーン、アローダー	1.倉庫	2.有り(船舶による輸送を伴)							●●港運	××支店	▲●	087-×××-××××	●●@●●co.jp
1.クレーン、アローダー	1.倉庫	2.有り(船舶による輸送を伴)							●●港運	××支店	▲●	087-×××-××××	●●@●●co.jp

※内陸流動に関して記載が困難な箇所があった場合には、内陸流動を把握する事業者等の情報を右の「内陸流動を把握する二次調査先」に記入

3. 調査票の記入要領（外航）

I 共通部分（申告者情報、船舶基本情報）の記入要領



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

バルク貨物流動調査 外航調査票

会社名、部署名	法人番号	所在地	電話番号	担当者名
①	②	③	④	⑤

項目・入力事項 行番号	船舶情報				寄港の状況						貨物の内容		国内港の背後地の状況			
	船名 ⑥ 直接入力	コールサイン ⑦ 直接入力	船種 ⑧ リスト選択	載貨重量 トン数 (DWT) ⑨ 直接入力	船積港(輸出)			船卸港(輸入)			貨物の品目		貨物量 トン数 (フレートトン) 直接入力	出入荷施設・荷役の状況		港湾と背後 地間の輸送 出荷施設へ の(入荷施設 からの)輸送 有無 リスト選択
					国名 リスト選択	港湾名 国内港はリスト選択 海外港は直接入力	出港月日 月 日 直接入力	国名 リスト選択	港湾名 国内港はリスト選択 海外港は直接入力	入港月日 月 日 直接入力	品目 コード リスト選択	品目名 直接入力		出荷施設から 船まで(船から 入荷施設まで) の荷役機械 リスト選択	出荷施設 (入荷施設) の種類 リスト選択	
1																
2																
3																
4																
5																

【申告者情報】

①会社名、部署名

貴社名及び部署名をご記入下さい。

②法人番号

貴社の法人番号をご記入下さい。

③所在地

貴社のご住所をご記入下さい。

④電話番号

後日、ご担当者にお問い合わせを差し上げる場合に連絡可能な電話番号をご記入ください。

⑤担当者

ご記入いただいた方のご所属、ご氏名をご記入下さい。記入内容について後日お問い合わせを差し上げる場合がございますので、ご回答頂ける方をご担当者として下さい。

【船舶基本情報】

⑥船名

船名をご記入下さい。

⑦コールサイン

当該船舶固有のコールサインをご記入下さい。

⑧船種

当該船舶の種類をリストより選択して下さい。コールサインの記入がある場合、回答不要です。

⑨総トン数

当該船舶の総トン数をご記入下さい。コールサインの記入がある場合、回答不要です。

II 貨物流動の記入要領



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

バルク貨物流動調査 外航調査票

会社名、部署名	法人番号	所在地	電話番号	担当者名

項目・入力事項 行番号	船舶情報				寄港の状況						貨物の内容		国内港の背後地の状況		
	船名 直接入力	コールサイン 直接入力	船種 リスト選択	載貨重量 トン数 (DWT) 直接入力	船積港(輸出)			船卸港(輸入)			品目 コード リスト選択	貨物量 トン数 (ブレイトトン) 直接入力	出入荷施設・荷役の状況		港湾と背後 地間の輸送 の有無 リスト選択
					国名 リスト選択	港湾名 国内港はリスト選択 海外港は直接入力	出港月日 月 日 直接入力	国名 リスト選択	港湾名 国内港はリスト選択 海外港は直接入力	入港月日 月 日 直接入力			出荷施設から 船まで(船から 入荷施設までの 荷役機械)	出荷施設 (入荷施設) の種類	
1					①	②	③	④	⑤	⑥					
2															
3															
4															
5															

【輸送貨物基本情報】

※調査票は、調査期間に船舶から積卸した貨物に関する情報を日付順にご記入ください。船積港（船卸港）、貨物の品目、仕出地（仕向地）別に1行ずつ記入して下さい（同一船舶に複数品目が積載される場合には品目ごとに行を分けて記入して下さい）。

①国名

船積国名を記入して下さい。

国名は、別添の『国・地域コード表』を参照の上、該当する国名を記入して下さい。エクセルシート上のセルをクリックすると、国が表示されますので選択して下さい。

②船積港の港湾名

国内港湾名は、別添の『港湾コード表』を参照の上、エクセルシートのセルをクリックすると、港湾名が表示されますので選択して下さい。海外港湾名は記入して下さい。実際に作業した日付順に記入してください。（例えば、2港積み、1港卸しの場合、1行目に最初に船積みした港湾名、2行目に次に船積みした港湾名、3行目に船卸しした港湾名を記入してください。→ p.17 の記入例3参照）

③出港月日

出港月日を記入して下さい。



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

バルク貨物流動調査 外航調査票

会社名、部署名	法人番号	所在地	電話番号	担当者名

項目・ 入力 事項 行番号	船舶情報				寄港の状況						貨物の内容		国内港の背後地の状況			
	船名	コールサイン	船種	載貨重量 トン数 (DWT)	船積港(輸出)			船卸港(輸入)			貨物の品目		貨物量 トン数 (プレートン)	出入荷施設・荷役の状況		港湾と背後 地間の輸送 出荷施設へ の(入荷施設 からの)輸送 有無
					国名	港湾名	出港月日	国名	港湾名	入港月日	品目 コード	品目名		出荷施設から 船まで(船から 入荷施設まで) の荷役機械	出荷施設 (入荷施設) の種類	
	リスト選択	国内港はリスト選択 海外港は直接入力	月 日	リスト選択	国内港はリスト選択 海外港は直接入力	月 日	直接入力	リスト選択	直接入力	リスト選択	リスト選択	リスト選択				
1					①	②	③	④	⑤	⑥						
2																
3																
4																
5																

④国名

船卸国名を記入して下さい。

国名は、別添の『国・地域コード表』を参照の上、該当する国名を記入して下さい。エクセルシートセルをクリックすると、国が表示されますので選択して下さい。

⑤船卸港の港湾名

国内港湾名は、別添の『港湾コード表』を参照の上、エクセルシートセルをクリックすると、港湾名が表示されますので選択して下さい。海外港湾名は記入して下さい。実際に作業した日付順に記入して下さい。(例えば、2港積み、1港卸しの場合、1行目に最初に船積みした港湾名、2行目に次に船積みした港湾名、3行目に船卸しした港湾名を記入して下さい。→ p.17 の記入例3参照)

⑥入港月日

入港月日を記入して下さい。



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

バルク貨物流動調査 外航調査票

会社名、部署名	法人番号	所在地	電話番号	担当者名

項目・入力事項 行番号	船舶情報				寄港の状況						貨物の内容			国内港の背後地の状況			
	船名	コールサイン	船種	載貨重量 トン数 (DWT)	船積港(輸出)			船卸港(輸入)			貨物の品目		貨物量 (フレートトン)	出入荷施設・荷役の状況		港湾と背後 地間の輸送	
					国名	港湾名	出港月日	国名	港湾名	入港月日	品目 コード	品目名		出荷施設から 船まで(船から 入荷施設まで) の荷役機械	出荷施設 (入荷施設) の種類		
	リスト選択	国内港はリスト選択 海外港は直接入力	月	日	リスト選択	国内港はリスト選択 海外港は直接入力	月	日	直接入力	リスト選択	直接入力	リスト選択	リスト選択	リスト選択			
1	直接入力	直接入力	リスト選択	直接入力													
2																	
3																	
4																	
5																	

⑦貨物の品目 (コード)

別添の『品目コード表』を参照の上、該当するコード(3桁)を記入して下さい。
エクセルシートのセルをクリックすると、品目が表示されますので選択して下さい。

⑧貨物の品目名

エクセルシートのセルをクリックすると、品目が表示されますので選択して下さい。

⑨貨物量

フレート・トンで記入して下さい。品目の種類が完成自動車の場合、台数で記入して下さい。

⑩出荷施設から船舶まで(船から入荷施設まで)の荷役機械

船積貨物の場合、船積港の出荷施設から船舶までの荷役機械で該当する番号を記入して下さい。
船卸貨物の場合、船舶から船卸港の入荷施設までの荷役機械で該当する番号を記入して下さい。
エクセルシートのセルをクリックすると、荷役機械が表示されますので選択して下さい。

- 1.クレーン、アンローダー 2.ベルトコンベア 3.パイプライン 4.ローディングアーム 5.自走 6.その他

⑪出荷施設(入荷施設)の種類

船積貨物の場合、最終的に船積みする前に貨物を保管していた施設の番号を記入して下さい。船卸貨物の場合、船卸して最初に貨物を保管した施設の番号を記入して下さい。
エクセルシートのセルをクリックすると、入荷施設(出荷施設)の種類が表示されますので選択して下さい。

- 1.倉庫 2.貯油槽 3.危険物置場 4.タンク 5.野積場 6.水面貯木場 7.サイロ
8.モータープール 9.その他

国内港の背後地の状況													
出入荷施設・荷役の状況		港湾と背後地間の輸送機関の状況			仕出地・仕向地の状況			内陸流動を把握する二次調査先					
出荷施設から船まで(船から入荷施設まで)の荷役機械	出荷施設(入荷施設)の種類	出荷施設への(入荷施設からの)輸送の有無	左記回答が1.の場合仕出港(仕向港)	仕出地から出荷施設まで(入荷施設から仕向地まで)の輸送機関	⑬ 仕出地(仕向地)			仕出場所(仕向場所)の種類	事業者等会社名	支店・部署等の名称	担当者氏名	電話番号	メールアドレス
リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	市町村コード	都道府県名	市区町村名	リスト選択	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力
		⑫	⑬	⑭				⑮					
※1 内陸流動													

⑫出荷施設への(入荷施設からの)輸送の有無

輸出の場合、本船への船積前に内航船により他の国内港湾から輸送された場合は、「1.有り(船舶による輸送を伴う場合)」を選択してください。出荷施設への輸送を行うが上記以外の場合は、「2.有り(船舶による輸送を伴わない場合)」を選択、出荷施設へは輸送しない場合は「3.無し」を選択して下さい。

輸入の場合、本船から船卸後(あるいは、本船から直接内航船に積み替え)、内航船により他の国内港湾に輸送された場合は、「1.有り(船舶による輸送を伴う場合)」を選択してください。入荷施設から輸送を行うが上記以外の場合は、「2.有り(船舶による輸送を伴わない場合)」を選択、入荷施設からは輸送しない場合は「3.無し」を選択して下さい。

- 1.有り(船舶による輸送を伴う場合) 2.有り(船舶による輸送を伴わない場合) 3.無し

※「出荷施設への(入荷施設からの)輸送の有無」が「3.無し」の場合は、以降の項目の回答不要です。

⑬左記回答が1.の場合の仕出港(仕向港)

輸出の場合、本船への船積前に内航船により他の国内港湾から輸送された場合は、出荷施設まで輸送した内航船が最初に船積した港湾名をリストより選択して下さい。

輸入の場合、本船から船卸後(あるいは、本船から直接内航船に積み替え)、内航船により他の国内港湾に輸送された場合、入荷施設から輸送した内航船が最後に船卸した港湾名をリストより選択して下さい。

⑭仕出地から出荷施設まで(入荷施設から仕向地まで)の輸送機関

船積貨物の場合は、仕出地から出荷施設までの輸送機関を、該当する番号を記入して下さい。

船卸貨物の場合は、入荷施設から仕向地までの輸送機関を、該当する番号を記入して下さい。

エクセルシートのセルをクリックすると、輸送機関が表示されますので選択して下さい。

- 1.鉄道 2.トラック、トレーラー、タンクローリー 3.自走 4.その他

⑮仕出地（仕向地）

船積貨物の場合、貨物が船積みされる状態になった場所（貨物が製造された工場等）を記入して下さい。船卸貨物の場合、貨物が最終的に消費される（加工、混合等）場所を記入して下さい。エクセルシートのセルをクリックすると、都道府県、市区町村名が表示されますので選択して下さい。

⑯仕出場所（仕向場所）の種類

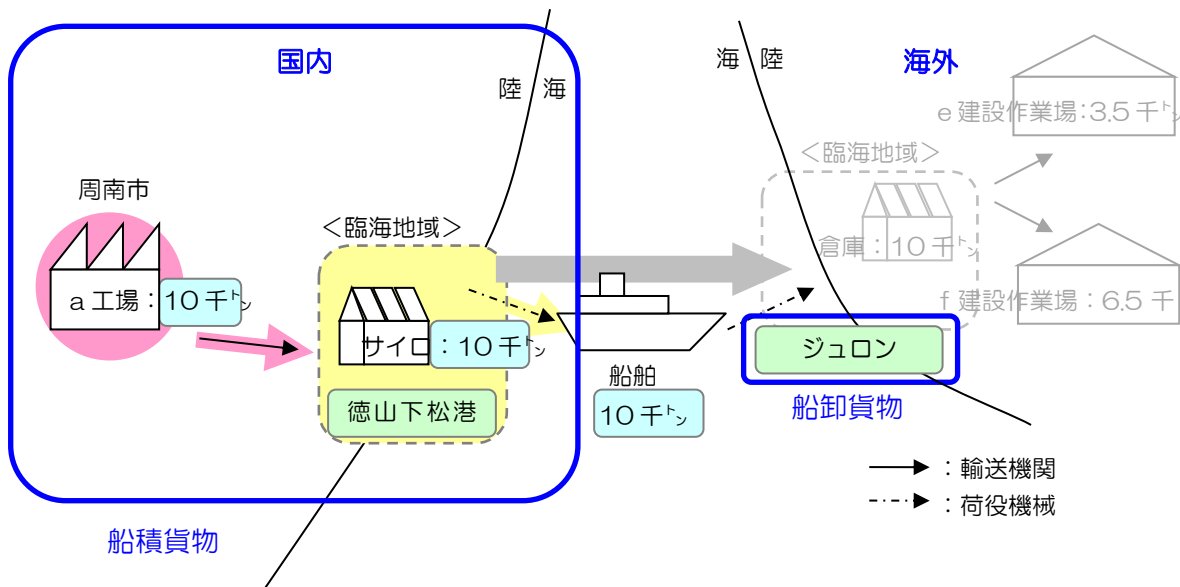
該当する仕出場所（仕向場所）の種類を記入して下さい。

エクセルシートのセルをクリックすると、仕出場所（仕向場所）の種類が表示されますので選択して下さい。

1.工場 2.倉庫 3.店舗・市場 4.建設作業場 5.サイロ 6.モータープール 7.野積場 8.その他

<記入例3：輸出（1港積み（複数仕出地）、1港卸し）の例>

○国内港湾（1港）で船積みされ、海外港湾（1港）で船卸される輸出貨物を輸送する船舶の場合



*この例では、船卸港が海外のため、内陸情報（荷役機械、出荷施設、輸送機関、仕出地）については記入不要。

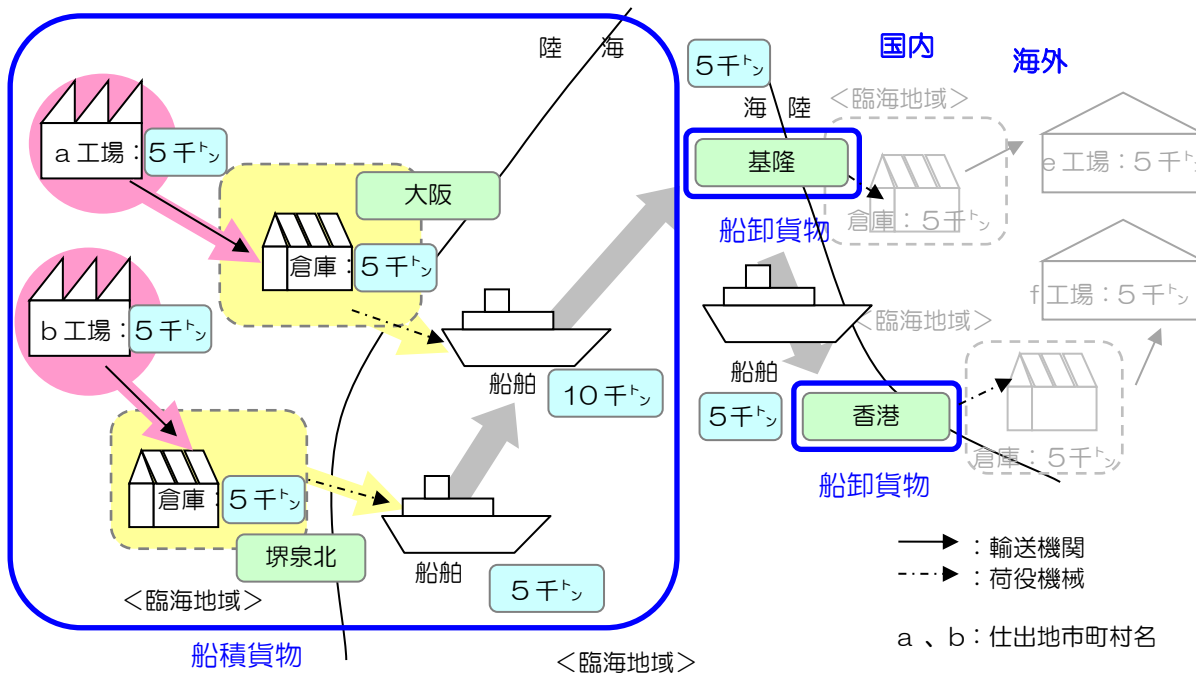
項目・入力事項	船舶情報				寄港の状況						貨物の内容				
	船名	コールサイン	船種	載貨重量 トン数 (DWT)	船積港(輸出)			船卸港(輸入)			貨物の品目		貨物量 (トン数 (フレートトン))		
					国名	港湾名	出港月日	国名	港湾名	入港月日	品目 コード	品目名			
行番号	直接入力	直接入力	リスト選択	直接入力	リスト選択	国内港はリスト選択 海外港は直接入力	月	日	リスト選択	国内港はリスト選択 海外港は直接入力	月	日	直接入力	リスト選択	直接入力
1	●●丸	JA1×××	撒積船	50,000	日本	徳山下松港	11	4	シンガポール	JURONG	11	13	281	セメント	10,000
2															
3															
4															
5															

国内港の背後地の状況												
出入荷施設・荷役の状況		港湾と背後地間の輸送機関の状況			仕出地・仕向地の状況			内陸流動を把握する二次調査先				
出荷施設から船まで(船から入荷施設までの荷役機械)	出荷施設(入荷施設)の種類	出荷施設への(入荷施設からの)輸送の有無	左記調査が1.の場合仕出港(仕向港)	仕出地から出荷施設まで(入荷施設から仕向地までの輸送機関)	仕出地(仕向地)		仕出場所(仕向場所)の種類	事業者等会社名	支店・部署等の名称	担当者氏名	電話番号	メールアドレス
リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	市町村コード	都道府県名	市区町村名	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力
2.ベルトコンベア	7.サイロ	2.有り(船舶による輸送を)						●●港運	××支店	▲●	052-xxxx-xxxx	●●@●●co.jp

※内陸流動に関して記載が困難な箇所があった場合には、内陸流動を把握する事業者等の情報を右の「内陸流動を把握する二次調査先」に記入

<記入例4：輸出（2港積み、2港卸し）の例>

○国内港湾（2港）で船積みされ、海外港湾（2港）で船卸される輸出貨物を輸送する船舶の場合



*この例では、船卸港が海外のため、内陸情報（荷役機械、出荷施設、輸送機関、仕出地）については記入不要。

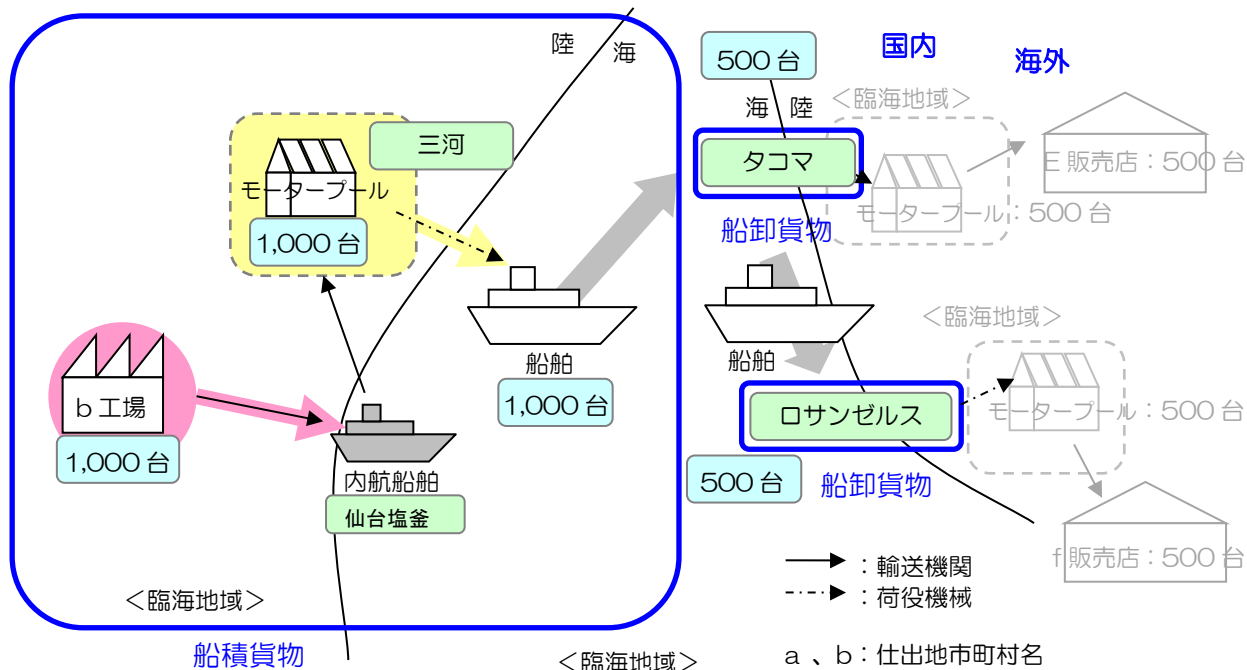
項目・ 入力 事項	船舶情報				寄港の状況						貨物の内容				
	船名	コールサイン	船種	載貨重量 トン数 (DWT)	船積港(輸出)			船卸港(輸入)			貨物の品目		貨物量		
					国名	港湾名	出港月日	国名	港湾名	入港月日	品目 コード	品目名	トン数 (フレートトン)		
	直接入力	直接入力	リスト選択	直接入力	リスト選択	国内港はリスト選択 海外港は直接入力	月 日	リスト選択	国内港はリスト選択 海外港は直接入力	月 日	直接入力	リスト選択	直接入力		
行番号	直接入力	直接入力	リスト選択	直接入力	リスト選択	国内港はリスト選択 海外港は直接入力	直接入力	リスト選択	国内港はリスト選択 海外港は直接入力	直接入力	リスト選択	直接入力			
1	●●丸	JA1×××	撒積船	50,000	日本	堺泉北港	11	4	台湾	基隆港	11	13	222	鋼材	5,000
2	●●丸	JA1×××	撒積船	50,000	日本	大阪港	11	6	香港	香港	11	17	222	鋼材	5,000
3															
4															
5															

国内港の背後地の状況													
出入荷施設・荷役の状況		港湾と背後地間の輸送機関の状況			仕出地・仕向地の状況			内陸流動を把握する二次調査先					
出荷施設から船まで(船から入荷施設まで)の荷役機械	出荷施設の種類	出荷施設への(入荷施設からの)輸送の有無	左記回答が1.の場合仕出港(仕向港)	仕出地から出荷施設まで(入荷施設から仕向地まで)の輸送機関	仕出地(仕向地)			仕出場所(仕向場所)の種類	事業者等会社名	支店・部署等の名称	担当者氏名	電話番号	メールアドレス
リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	市町村コード	都道府県名	市区町村名	リスト選択	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力
1.クレーン、アン	1.倉庫	2.有り(船船による輸送を伴)		2.トラック、トレーラー	35215	山口県	周南市	1.工場					
1.クレーン、アン	1.倉庫	2.有り(船船による輸送を伴)		2.トラック、トレーラー	35215	山口県	周南市	1.工場					

※内陸流動に関して記載が困難な箇所があった場合には、内陸流動を把握する事業者等の情報を右の「内陸流動を把握する二次調査先」に記入

<記入例5：輸出（1港積み、2港卸し）の例> ※内航船による輸送を伴う場合

○国内港湾（1港）で船積みされ、海外港湾（2港）で船卸される輸出貨物を輸送する船舶の場合



*この例では、船卸港が海外のため、内陸情報（荷役機械、出荷施設、輸送機関、仕出地）については記入不要。

項目・入力事項 行番号	船舶情報				寄港の状況						貨物の内容		
	船名	コールサイン	船種	載貨重量 トン数 (DWT)	船積港(輸出)			船卸港(輸入)			貨物の品目		貨物量
					国名	港湾名	出港月日	国名	港湾名	入港月日	品目コード	品目名	トン数 (フレートトン)
	直接入力	直接入力	リスト選択	直接入力	リスト選択	国内港はリスト選択 海外港は直接入力	月 日	リスト選択	国内港はリスト選択 海外港は直接入力	月 日	直接入力	リスト選択	直接入力
1	●●丸	JA1×××	自動車専用船	50,000	日本	三河港	11/4	アメリカ	タコマ港	11/20	252	完成自動車	500
2	●●丸	JA1×××	自動車専用船	50,000	日本	三河港	11/6	アメリカ	ロサンゼルス港	11/24	252	完成自動車	500
3													
4													
5													

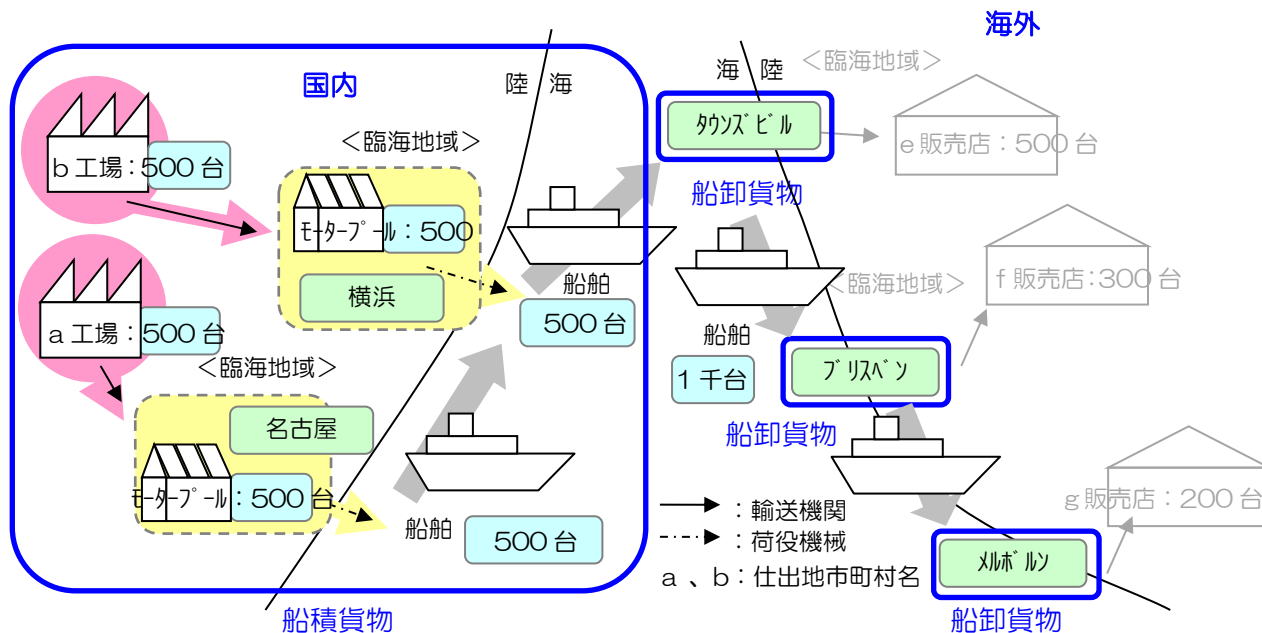
※自動車は台数を記入

国内港の背後地の状況												
出入荷施設・荷役の状況		港湾と背後地間の輸送機関の状況			仕出地・仕向地の状況			内陸流動を把握する二次調査先				
出荷施設から船まで(船から入荷施設まで)の荷役機械	出荷施設(入荷施設)の種類	出荷施設への(入荷施設からの)輸送の有無	左記回答が1.の場合仕出港(仕向港)	仕出地から出荷施設まで(入荷施設から仕向地まで)の輸送機関	仕出地(仕向地)		仕出場所(仕向場所)の種類	事業者等会社名	支店・部署等の名称	担当者氏名	電話番号	メールアドレス
リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	市町村コード	都道府県名	市区町村名	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力
5.自走	8.モータープール	1.有り(船舶による輸送を伴う)	仙台塩釜港	3.自走	4421	宮城県	〇〇市	1.工場				
5.自走	8.モータープール	1.有り(船舶による輸送を伴う)	仙台塩釜港	3.自走	4421	宮城県	〇〇市	1.工場				

※内陸流動に関して記載が困難な箇所があった場合には、内陸流動を把握する事業者等の情報を右の「内陸流動を把握する二次調査先」に記入

<記入例 6：輸出（2港積み、3港卸し、完成自動車）の例>

○国内港湾（2港）で船積みされ、海外港湾（3港）で船卸される輸出貨物を輸送する船舶の場合



*この例では、船卸港が海外のため、内陸情報（荷役機械、出荷施設、輸送機関、仕出地）については記入不要。

項目・入力事項 行番号	船舶情報				寄港の状況							貨物の内容			
	船名	コールサイン	船種	載貨重量トン数(DWT)	船積港(輸出)			船卸港(輸入)				貨物の品目		貨物量	
					国名	港湾名	出港月日	国名	港湾名	入港月日	品目コード	品目名	トン数(プレートトン)		
	直接入力	直接入力	リスト選択	直接入力	リスト選択	国内港はリスト選択 海外港は直接入力	月	日	リスト選択	国内港はリスト選択 海外港は直接入力	月	日	直接入力	リスト選択	直接入力
1	●●丸	JA1×××	貨物船	20,000	日本	名古屋港	11	6	オーストラリア	タウンズビル	11	17	252	完成自動車	500
2	●●丸	JA1×××	貨物船	20,000	日本	横浜港	11	7	オーストラリア	ブリスベン	11	20	252	完成自動車	300
3	●●丸	JA1×××	貨物船	20,000	日本	横浜港	11	7	オーストラリア	メルボルン	11	23	252	完成自動車	200
4															
5															

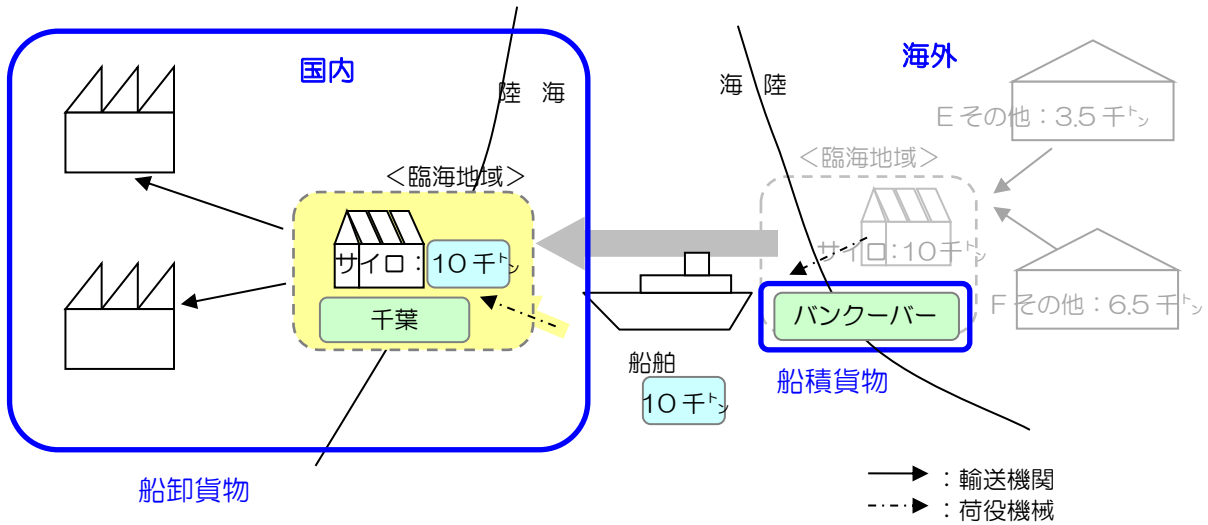
※自動車は台数を記入

国内港の背後地の状況												
出入荷施設・荷役の状況		港湾と背後地間の輸送機関の状況			仕出地・仕向地の状況			内陸流動を把握する二次調査先				
出荷施設から船まで(船から入荷施設まで)の荷役機械	出荷施設(入荷施設)の種類	出荷施設への(入荷施設からの)輸送の有無	左記回答が1.の場合仕出港(仕向港)	仕出地から出荷施設まで(入荷施設から仕向地まで)の輸送機関	仕出地(仕向地)		仕出場所(仕向場所)の種類	事業者等会社名	支店・部署等の名称	担当者氏名	電話番号	メールアドレス
リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	市町村コード	都道府県名	市区町村名	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力
5.自走	8.モーターフル	2.有り(船舶による輸送を伴)		2.トラック、トレーラー				●●港運	××支店	▲●	052-xxxx-xxxx	●●@●●co.jp
5.自走	8.モーターフル	2.有り(船舶による輸送を伴)		2.トラック、トレーラー				●●倉庫	物流グループ	●■	045-xxxx-xxxx	●■@●■co.jp
5.自走	8.モーターフル	2.有り(船舶による輸送を伴)		2.トラック、トレーラー				●●倉庫	物流グループ	●■	045-xxxx-xxxx	●■@●■co.jp

※内陸流動に関して記載が困難な箇所があった場合には、内陸流動を把握する事業者等の情報を右の「内陸流動を把握する二次調査先」に記入

<記入例7：輸入（1港積み、1港卸し、麦）の例>

○海外港湾（1港）で船積みされ、国内港湾（1港）で船卸される輸入貨物を輸送する船舶の場合



*この例では、船積港が海外のため、内陸情報（荷役機械、入荷施設、輸送機関、仕向地）については記入不要。

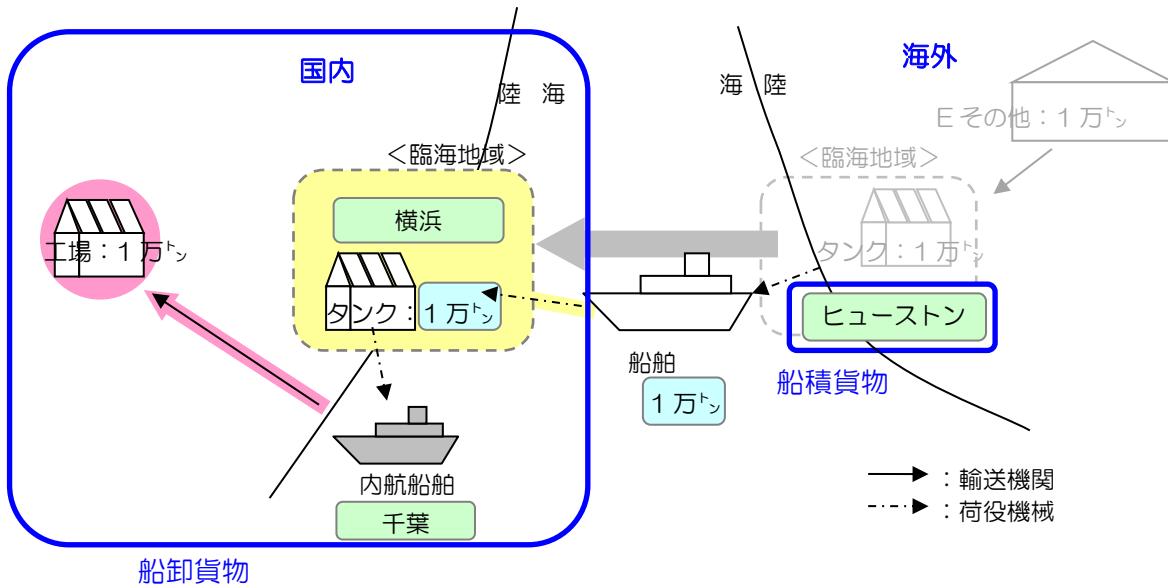
項目・入力事項	船舶情報				寄港の状況						貨物の内容					
	船名	コールサイン	船種	載貨重量 トン数 (DWT)	船積港(輸出)			船卸港(輸入)			貨物の品目		貨物量 トン数 (フレートン)			
					国名	港湾名	出港月日	国名	港湾名	入港月日	品目 コード	品目名				
行番号	直接入力	直接入力	リスト選択	直接入力	リスト選択	国内港はリスト選択 海外港は直接入力	月	日	直接入力	リスト選択	国内港はリスト選択 海外港は直接入力	月	日	直接入力	リスト選択	直接入力
1	●●MARU	JA2×××	撒積船	40,000	カナダ	バンクーバー	10	25	日本	千葉港	11	12	011	麦	10,000	
2																
3																
4																
5																

国内港の背後地の状況												
出入荷施設・荷役の状況		港湾と背後地間の輸送機関の状況			仕出地・仕向地の状況			内陸流動を把握する二次調査先				
出荷施設から船まで(船から入荷施設まで)の荷役機械	出荷施設(入荷施設)の種類	出荷施設への(入荷施設からの)輸送の有無	左記調査が1.の場合仕出港(仕向港)	仕出地から出荷施設まで(入荷施設から仕向地まで)の輸送機関	仕出地(仕向地)		仕出場所(仕向場所)の種類	事業者等会社名	支店・部署等の名称	担当者氏名	電話番号	メールアドレス
リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	市町村コード	都道府県名	市区町村名	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力
	7.サイロ	3.無し										

※内陸流動に関して記載が困難な箇所があった場合には、内陸流動を把握する事業者等の情報を右の「内陸流動を把握する二次調査先」に記入

<記入例 8：輸入（1港積み、1港卸し、石油製品）の例>

○海外港湾（1港）で船積みされ、国内港湾（1港）で船卸される輸入貨物を輸送する船舶の場合



*この例では、船積港が海外のため、内陸情報（荷役機械、入荷施設、輸送機関、仕向地）については記入不要。

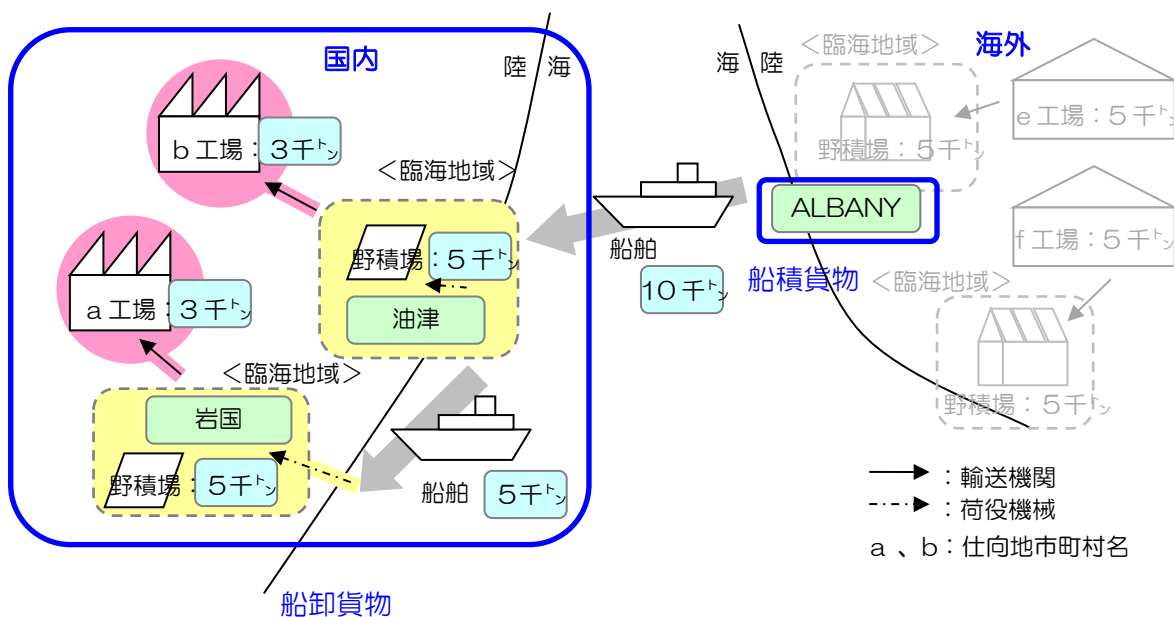
項目・入力事項	船舶情報				寄港の状況						貨物の内容				
	船名	コールサイン	船種	載貨重量 トン数 (DWT)	船積港(輸出)			船卸港(輸入)			貨物の品目		貨物量 (フレートトン)		
					国名	港湾名	出港月日	国名	港湾名	入港月日	品目 コード	品目名			
														国内港はリスト選択 海外港は直接入力	国内港はリスト選択 海外港は直接入力
直接入力	直接入力	リスト選択	直接入力	リスト選択	月	日	リスト選択	国内港はリスト選択 海外港は直接入力	直接入力	月	日	リスト選択	直接入力		
1	●●MARU	JAZ2×××	4.油槽船	50,000	アメリカ	ヒューストン	11	4	日本	横浜港	11	15	324	その他石油製品	10,000
2															
3															
4															
5															

国内港の背後地の状況												
出入荷施設・荷役の状況		港湾と背後地間の輸送機関の状況			仕出し地・仕向地の状況			内陸流動を把握する二次調査先				
出荷施設から船まで(船から入荷施設まで)の荷役機械	出荷施設(入荷施設)の種類	出荷施設への(入荷施設からの)輸送の有無	左記調査が1.の場合仕出港(仕向港)	仕出し地から出荷施設まで(入荷施設から仕向地まで)の輸送機関	仕出し地(仕向地)	仕出場所(仕向場所)の種類	事業者等会社名	支店・部署等の名称	担当者氏名	電話番号	メールアドレス	
リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	市町村コード	都道府県名	市区町村名	直接入力	直接入力	直接入力	直接入力	
3.パイプライン	2.貯油槽	1.有り(船舶輸送送用)	千葉港					●●港運	××支店	▲●	043-×××-××××	●●@●●co.jp

※内陸流動に関して記載が困難な箇所があった場合には、内陸流動を把握する事業者等の情報を右の「内陸流動を把握する二次調査先」に記入

＜記入例 9・輸入（1港積み、2港卸し、船卸貨物二次調査先記入）の例＞

○海外港湾（1港）で船積みされ、国内港湾（2港）で船卸される輸入貨物を輸送する船舶の場合



*この例では、船卸港が海外のため、内陸情報（荷役機械、入荷施設、輸送機関、仕向地）については記入不要。

項目・入力事項 行番号	船舶情報				寄港の状況						貨物の内容				
	船名	コールサイン	船種	載貨重量 トン数 (DWT)	船積港(輸出)			船卸港(輸入)			貨物の品目		貨物量		
					国名	港湾名	出港月日	国名	港湾名	入港月日	品目コード	品目名	トン数 (フレートトン)		
1	●●MARU	JA2×××	撒積船	30,000	オーストラリア	ALBANY	11	4	日本	油津港	11	1	111	木材チップ	5,000
2	●●MARU	JA2×××	撒積船	30,000	オーストラリア	ALBANY	11	4	日本	岩国港	11	2	111	木材チップ	5,000
3															
4															
5															

国内港の背後地の状況													
出入荷施設・荷役の状況		港湾と背後地間の輸送機関の状況			仕出地・仕向地の状況			内陸流動を把握する二次調査先					
出荷施設から船まで(船から入荷施設まで)の荷役機械	出荷施設(入荷施設)の種類	出荷施設への(入荷施設からの)輸送の有無	左記回答が1の場合の仕出港(仕向港)	仕出地から出荷施設まで(入荷施設から仕向地まで)の輸送機関	仕出地(仕向地)			事業者等会社名	支店・部署等の名称	担当者氏名	電話番号	メールアドレス	
リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	リスト選択	市町村コード	都道府県名	市区町村名						仕出場所(仕向場所)の種類
1.クレーン、ア	5.野角場	2.有り(船舶による輸送を							●●港運	×支店	▲●	043-xxxx-xxxx	●●@●●co.jp
1.クレーン、ア	5.野角場	2.有り(船舶による輸送を							●●倉庫	物流グループ	●■	073-xxxx-xxxx	●■@●■co.jp

※内陸流動に関して記載が困難な箇所があった場合には、内陸流動を把握する事業者等の情報を右の「内陸流動を把握する二次調査先」に記入